

企業の持続的発展



日本においてもSDGs(Sustainable Development Goals)が広く認知されるようになってきました。SDGsは「持続可能な開発目標」と訳されていますが、2030年を期限として、社会、経済、環境の調和を追求する目標の枠組みです。

SDGsに掲げられた17の目標の未来像を実現するためのニーズを探っていくと様々なSDGsビジネスの展開の可能性があります。ただ国内においては新たなビジネスチャンスとして活用できている企業はまだ少ないのが現状です。

中小企業がSDGsに取り組もうとするには人材面や資金面での課題はありますが、その意思決定の速さや柔軟性、地域との密着度などからみればSDGsに取り組むやすい素地があるともいえるのではないのでしょうか。

本号では「企業の持続的発展」をテーマとして特集を組み、「中小企業経営と社会的インパクト」「SDGs金融は地方創生の原動力となるか」「食・食サービス産業における人・機械共創と未来の働き方～従業員満足と生産性向上～」の3本の論文を取りあげました。

中小企業経営と社会的インパクト

遠山 恭司

01 ●

SDGs金融は
地方創生の原動力となるか

橋爪 麻紀子

02 ●

食・食サービス産業における
人・機械共創と未来の働き方
～従業員満足と生産性向上～

野中 朋美

03 ●